

市民と議会の情報交換広場
富津市議会報告会 2017



報告書

目 次

開催概要	……………1
第1章 議会報告会について	
1. 総務産業常任委員会の報告資料	……………3
2. 教育福祉常任委員会の報告資料	……………4
3. 決算審査特別委員会の報告資料	……………7
4. 地方創生研究会の報告資料	……………8
5. 議会改革推進研究会の報告資料	……………9
第2章 意見交換会について	
1. 各テーマの意見交換会結果について	
・空き家対策について	……………10
・子育てについて	……………10
・公共交通について	……………11
2. 各グループ・各テーマの意見交換会記録	
・意見交換会の様子	……………12
・各グループの模造紙・発表内容	
・空き家対策について	……………13
・子育てについて	……………17
・公共交通について	……………20
第3章 アンケート結果について	
1. 参加者アンケートまとめ	……………24

開催概要

開催日時

- 【1日目】2017年11月7日（火） 峰上地区公民館にて 参加人数 18名
 テーマ：空き家対策について
- 【2日目】2017年11月9日（木） 富津公民館にて 参加人数 7名
 テーマ：子育てについて
- 【3日目】2017年11月18日（土） 佐貫コミュニティセンターにて 参加人数 27名
 テーマ：公共交通について

開催内容 各日程とも内容については下記のとおり同様のものを行いました。

【第1部】 富津市議会報告会

- 1) 総務産業常任委員会の報告
- 2) 教育福祉常任委員会の報告
- 3) 決算審査特別委員会の報告
- 4) 地方創生研究会の報告
- 5) 議会改革推進研究会の報告

【第2部】 意見交換会

【進行方法】

- ・会場入り口の受付で配布資料（次第・アンケート用紙・報告資料）を配布。それと同時に席札表によりグループ分けをさせて頂いた。大体4グループ（各グループとも6～10名程度）に分かれ、まずは第1部の議会報告会を傍聴頂いた。その後、グループ分けをさせて頂き、第2部のグループ意見交換会を行った。
- ・各グループには、富津市議会議員がコーディネーターと補佐役として4名入り、第2部の討議の進行サポートを行いながら、グループごとに討議を行いました。
 （意見交換会ルール）
 - 1) 自由奔放に意見を出してもらうこと。
 - 2) たくさんの意見を出してもらうこと。
 - 3) 他の人から出された意見への批判は絶対にしないこと。
 - 4) 他の人からの意見を聞き、自分の意見を変えても構わないこと。
- ・討議の時間は70分間とし、進行方法としては、まず各自の意見を付箋に記入し模造紙に添付し、それを元にグループ意見交換会を行い、最終的にグループの代表意見を取りまとめてもらいました。
- ・討議終了後、休憩時間中に各グループの模造紙を発表場所に張り出し、他のグループの内容を自由に閲覧できるような形を取りました。休憩後は、各グループの発表者から、どのようなプロセスで意見を取りまとめたか等を発表頂きました。

当日のスケジュール

時間	所用時間	内容
17:55 ~ 18:00	5分	お願い・注意事項連絡
18:00 ~ 18:10	10分	開会式 開会宣言 議員紹介 議長挨拶 平野 明彦 議長
18:10 ~ 18:35	25分	第1部 議会報告会 総務産業常任委員会報告 教育福祉常任委員会報告 決算審査特別委員会報告 地方創生研究会報告 議会改革推進研究会報告
18:35 ~ 18:40	5分	準備休憩
18:40 ~ 19:40	60分	第2部 グループディスカッション (ディスカッション方式) 1. 簡単な進行説明・自己紹介 5分程度 2. 個別にポストイットを使って意見提出 15分程度 3. グループ全員で意見集約に向けてディスカッション 20分程度 4. グループ全員で意見を取りまとめ 20分程度
19:40 ~ 19:58	18分	各グループによる発表 アンケート記入・諸連絡事項伝達
19:58 ~ 20:00	2分	閉会式 主催者御礼挨拶 議会改革推進研究会 石井 志郎 議員 閉会宣言

【開会式】

(開会宣言)

(議長挨拶)

議会改革推進研究会
会長 石井 志郎

富津市議会
議長 平野 明彦

第1章 議会報告会について（資料添付）

●総務産業常任委員会の報告資料（発表者：総務産業常任委員会 委員長 平野 英男）

総務産業常任委員会参考資料

2017年11月

《 財 政 》

（単位：千円）	財政調整基金	投資的経費	経常収支比率
平成21年度	301,444	1,539,727	93.3%
平成22年度	501,547	1,338,569	88.7%
平成23年度	701,678	1,234,951	91.9%
平成24年度	401,887	2,718,966	92.7%
平成25年度	201,968	938,796	93.1%
平成26年度	656,351	790,827	89.1%
平成27年度	966,530	930,055	87.3%
平成28年度	1,463,098	1,259,478	90.8%
議会報告会時点 →	1,843,098	1,493,803	平成29年度決算見込 (中期財政計画)

財政調整基金とは、災害など不測の事態に備えるための市の貯金
 投資的経費とは、道路やその他インフラ整備などの普通建設事業や、災害復旧などにかかる経費
 経常収支比率とは、財政運営の弾力性（余裕）を示す数値であり%が低い方が望ましい

《 避難所自動解錠ボックス 》

震度5弱以上の地震を感知するとボックスが自動で解錠する仕組みで、24時間安心の無電源感震システムで縦揺れにも横揺れにも反応



設置場所：青堀小学校、富津中学校、大貫中学校、天羽中学校の体育館の入り口付近

《 有害鳥獣問題 》

（捕獲頭数）	イノシシ	サル	シカ	被害金額
平成25年度	1,826頭	148頭	90頭	1,535万8千円
平成26年度	2,716頭	103頭	114頭	1,653万9千円
平成27年度	2,757頭	96頭	213頭	1,701万5千円
平成28年度	3,377頭	81頭	393頭	1,818万3千円

※ 戸面原ダム付近での捕獲鳥獣処理の実証実験は機器の調整ができ次第実施

●教育福祉常任委員会の報告資料（教育福祉常任委員会 委員長 渡辺 努）

富津市小・中学校再配置計画(概要)について

学校再配置について

富津市教育委員会では、極めて人数の少ない学級が出てきていることから、子どもたちのよりよい未来のため、一定規模を有する教育環境への改善を図り、多くの仲間と意見交換をしたり、切磋琢磨できる機会を増やすとともに、幅広い人間関係の学べる場を提供することで児童・生徒自身をよりたくましく育てていきたいと考えました。

富津市小・中学校再配置計画(概要)

- 児童・生徒数の減少と本市の実態を考え、小学校では「複式学級の解消」、中学校では「学年1学級の解消」を目安としています。

再配置の時期	内 容	備 考
平成32年 4月～	・天羽地区3小学校(湊小・天神山小・竹岡小)の再配置	・湊小学校校舎を使用
	・大貫中学校と佐貫中学校の再配置	・大貫中学校校舎を使用
	・天羽中学校と天羽東中学校の再配置	・天羽中学校校舎を使用

※金谷小学校の再配置について

- ・アンケート調査や説明会での意見聴取等の結果から、学校再配置に係る保護者の理解を十分に得ることができていないと判断し、今回の学校再配置計画には加えず、今後も継続して保護者の理解が得られるように努めていきます。

※環小学校の再配置について

- ・当初の学校再配置計画(案)には盛り込んでいませんでしたが、保護者から天羽地区の小学校再配置計画に加えてほしい旨の要望が多数ありました。今後、改めて懇談会を開催し、保護者・地区の意見を聴取するとともに、教育委員会で協議・検討を行っていきます。

●教育福祉常任委員会の報告資料（続き）

放課後児童クラブのご案内			
クラブ名	実施場所	電話番号	保育時間
オレンジクラブ	富津 396-34 富津保育園	87-2104	平日 放課後～午後 6 時 00 分(延長可) 土曜・学校休業日 8 時 00 分～午後 6 時 00 分(延長可)
青堀第 1 放課後児童クラブ	青木 2-13-6 G 棟 青堀保育園隣	80-4767	平日 放課後～午後 6 時 00 分(延長可) 土曜・学校休業日 8 時 00 分～午後 6 時 00 分(延長可)
青堀第 2 放課後児童クラブ	青木 2-13-6 F 棟 青堀保育園隣	27-0802	平日 放課後～午後 7 時 00 分(延長可) 土曜日 8 時 00 分～午後 5 時 00 分(延長可) 学校休業日 7 時 00 分～午後 7 時 00 分(延長可)
青木遊輝塾	青木 2-9-18 青堀保育園近く	88-1123	平日 放課後～午後 6 時 30 分 土曜・学校休業日 7 時 30 分～午後 6 時 30 分
あそび塾	小久保 114 大貫小学校余裕教室	65-3904	平日 放課後～午後 7 時 00 分(延長可) 土曜・学校休業日 7 時 00 分～午後 7 時 00 分(延長可)
さぬキッズ	鶴岡 989-1 佐貫小学校余裕教室	090-9674-5388	平日 放課後～午後 6 時 30 分 土曜日 7 時 30 分～午後 5 時 00 分 学校休業日 7 時 30 分～午後 6 時 30 分
虹色キッズ	絹 176-3 吉野小学校内	090-3210-2058	平日 放課後～午後 6 時 00 分 土曜・学校休業日 8 時 00 分～午後 6 時 00 分

●決算審査特別委員会の報告資料（平成28年度決算審査特別委員会 委員長 福原 敏夫）

平成28年度一般会計決算概要

1 一般会計決算の推移

区分	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引
歳入決算額	18,020,853		9.7	15,780,734		△ 12.4	16,731,426		6.0	16,264,325		△ 2.8	17,053,266		4.9
歳出決算額	17,656,828		10.3	15,289,263		△ 13.4	16,038,895		4.9	15,363,735		△ 4.2	16,209,464		5.5
歳入歳出差引額	364,025		△ 13.6	491,471		35.0	692,531		40.9	900,590		30.0	843,802		△ 6.3

(単位:千円)

2 一般会計決算収支

歳入	平成28年度			平成27年度			平成28年度		
	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引
歳入	17,053,266	16,209,464	843,802	758,451	763,798	△ 5,347	10,935,445	10,935,445	6.9
歳出				758,451	763,798	△ 5,347	10,935,445	10,935,445	6.9
差引				85,351	763,798	△ 5,347	10,935,445	10,935,445	6.9

(単位:千円、%)

3 平成28年度単年度収支

区分	決算収支額			
	実質収支額	単年度収支	財調基金積立額	繰上償還額
平成26年度	612,134	158,188	604,383	-
平成27年度	763,798	151,664	179	-
平成28年度	758,451	△ 5,347	114,569	-

(単位:千円)

4 財政調整基金

区分	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引
財政調整基金	401,887		△ 42.7	201,968		△ 49.7	656,351		225.0	966,530		47.3	1,463,098		51.4

(単位:千円、%)

※参考:平成28年度の決算剰余金758,451千円の半分の380,000千円を決算積立し、1,843,098千円が8月末の現在高です。

5 標準財政規模

区分	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引	歳入	歳出	差引
標準財政規模	10,997,142		△ 2.4	10,957,011		△ 0.4	10,820,846		△ 1.2	11,097,767		2.6	10,935,445		△ 1.5

(単位:千円、%)

用語解説

- ※1 実質収支比率とは、標準財政規模に対する実質収支の割合をいいます。実質収支は、その年度に属すべき収入と支出の実質的な差額(形式収支から繰越すべき財源を差し引いたもの)、つまり市町村の「黒字」または「赤字」を意味します。一般的には、3~5%程度が望ましいとされています。
- ※2 標準財政規模とは、その地方公共団体の標準的な状態で通常収入が早込まれる一般財源の規模を示す指標。
- ※3 実質単年度収支は、単年度収支に当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようになっているか検証するもの。

●地方創生研究会の報告資料（地方創生研究会 会長 藤川 正美）

【報告】 富津市議会 地方創生研究会

★研究テーマ：富津市の公共交通網

- 2016年
- ▽第1回（6月24日） 2つの研究会への議員の割り振りと、各会の会長・副会長を決める。
 - ▽第2回（8月2日） 研究会のテーマを検討し、「公共交通システム」に決定。このテーマの研究期間を1年とし、月1回程度の開催とする。
 - ▽第3回（9月2日） 市内路線バスの現状について市担当者から説明を受け、質疑応答。
 - ▽第4回（10月17日） 市内路線バスの調査方法の協議。福祉有償運送とウーバー（UBER）の仕組みについて学習。
 - ▽第5回（11月14日） 全員で路線バス調査結果を発表。近隣市のデマンドタクシーの視察を検討し、実施日の協議。
 - ▽視察（12月21日） 君津市のデマンドタクシー視察
-
- 2017年
- ▽第6回（1月25日） 視察結果について意見交換。本研究会の今後について協議。富津市全体ではなく、モデルケースとして天羽地域に決める。
 - ▽第7回（3月28日） 各委員から、富津市に合った公共交通について発表するが、現状の路線バスに疑問を抱くも、具体案には至らない。
 - ▽第8回（4月20日） 再度、各委員から富津市に合った公共交通網について研究報告をもらうが、まとまらない。
 - ▽第9回（5月23日） 重ねて、各委員から天羽地域の公共交通網について、文章・図などで具体案の提出となったが、統一案は見つからず。
 - ▽第10回（7月11日） 会長・副会長が作成した報告書（案）について、各委員から意見を聞き修正後、再度添削する。
 - 報告書提出（7月31日） 議長に報告書を提出。詳しくは、市のホームページをご覧ください。（富津市>市議会>議会からのお知らせ>地方創生研究会報告書）

★研究テーマ：空き家バンク

- ▽第1回（8月24日） 富津市の空き家の現状と「空き家等対策計画作成の手引き」について、市から説明を受け、今後の研究目標を検討。
- ▽第2回（9月26日） 「空き家バンク」と「住宅セーフティネット法」についての調査を代表の委員に依頼する。
- ▽第3回（10月27日） 研究テーマを「空き家バンク」に決定。
- ▽第4回（11月27日） 空き家バンクについての研究方法を決める予定。

●地方創生研究会メンバー

- ①諸岡賛陞 ②千倉淳子 ③山田重雄 ④松原和江 ⑤藤川正美 ⑥永井庄一郎 ⑦福原敏夫

●議会改革推進研究会の報告資料（議会改革推進研究会 副会長 猪瀬 浩）

富津市議会 議会改革推進研究会

議会報告会は今年度で3回目を迎えます。皆さんから頂いたご意見は、今後の議会活動に反映させていただきます。

《1回目の開催》

平成26年8月の財政難報道を受け行政からだけでなく市議会からも市民に市政状況を伝えたほうが良いということで、平成27年10月に、富津地区（富津公民館）・大佐和地区（中央公民館）・天羽地区（市民会館）の3か所で開催しました。会場では1部議会報告、2部質疑として行いました。

《2回目の開催》

昨年度は、富津市議会議員改選後の新たに当選した16名により市民との意見交換を行う時間を設ける新たな2部制での議会報告会を企画して平成28年11月に富津地区（富津公民館）・大佐和地区（市役所5階）・天羽地区（市民会館）の3か所で開催しました。市民との意見交換の手法としては初めての試みとなる議員と市民がいくつかの班に分かれ、ポストイットを用いたブレインストーミング方式を採用し、意見交換のテーマは参加者が意見を出しやすいように「住みやすいまちづくり」としました。そこでいただいた意見は「自分たちで出来ること」「議会、行政にお願いしたいこと」に仕分けしながら意見交換を行い、最後にまとめとして班ごとに発表を行いました。

※意見交換会の報告書は市役所1階行政資料コーナーか議会図書室、もしくは富津市議会ホームページの「議会からのお知らせ」（平成29年3月24日付け）からご覧下さい。

《3回目の開催》

今年度の議会報告会も昨年同様、議会からの議会報告、市民との意見交換の2部制とし、また市民との意見交換の手法もポストイットを用いたブレインストーミング方式で行います。開催場所は、より地域住民の皆様と身近である場所で行うとして旧行政区から市内3カ所の施設を選び、各地域の問題点をテーマにしてみました。

《その他の研究テーマ》

「議長選挙における所信表明の導入検討」「議会活動のインターネット中継・録画配信に向けた調査・研究」等、様々な議会運営に関することを調査・研究し、市民の皆さんに必要とされる、頼りにされる議会組織を目指してまいります。

●議会改革推進研究会メンバー

会長 石井志郎 副会長 猪瀬 浩

鈴木幹雄 渡辺 務 平野英男 高木一彦 三木千明

第2章 意見交換会について

1. 各テーマの意見交換会結果について

1) 空き家対策について（まとめ）

4グループ18名の参加者の方々から、下記のような意見が出ました。

どの班もこれから空き家がどんどん増えていくだろうことを危惧していることがまず伺えました。

そしてその対策の第一歩として、今のうちから空き家になりそうな高齢者の一人暮らし世帯の情報や転出後の所有者の情報を、区長によって地域で把握する、また市で総合窓口を設け、情報交換を行えるようにする必要があるのではないかと言ったような意見が多く出ました。

また現状既にある空き家における問題として、鳥獣の住み家になったり、雑草が生い茂ったり、老朽化した建屋が崩れたりと、地域の防犯上の危険増加や景観の問題等が発生していることが上げられました。

管理出来ない空き家については、情報発信の仕組みや助成金制度等を検討して、売買したり、貸し出したりする仕組みを作るべきではないかといったような意見も多数ありました。

しかし既に所有者・相続人が誰か分からない状態となっているものもあること、また私物があるので貸すのを躊躇う方も多いこと、そして移住者が出てきても地域と上手く溶け込めない等の課題があるとのことで、これらをどう解決していくかも検討していくべきであるといったような意見が出ました。

2) 子育てについて（まとめ）

2グループ7名の参加者の方々が参加し、こどもまつり（富津市民文化祭）で取った「子育てアンケート」や子育て世代からの意見も持参頂き、下記のような意見が出ました。

まず意見として多かったのは、近くに子どもを安心して遊ばせられる場所がないということ。既存の公園を含め、近くなかったり、あっても遊具が壊れたままだったり、トイレや水洗い場がなく、また草木の伐採等も行われていないため、これでは安全に、安心して子どもを遊ばせられないということでした。この背景には共働き世帯のニーズが前提にあり、放課後17時ぐらいまで子どもたちが自由に遊べる場所が欲しいといった意見や、0～18歳ぐらいまで利用できる児童館があると助かると言った声が出ました。

各公民館に設置されている図書室が、場所がわかりにくかったり、暗くて狭かったり、新書が段ボールに山積みされたままだったり、子どもたちが読む本が棚の高い位置に置かれていたり等、使い勝手が悪いと言ったような声も上がりました。また出来れば勉強が出来るような図書館が欲しいが、市で建設するのが難しいようであれば、イオン富津さんに協力を頂いて図書室や遊び場を作ってもらえれば、駐車場の心配もいらぬし、バスもあるので便利ではないかと言ったような声も出ました。

子育て支援センター等の情報をもっと上手くPRして欲しいと言ったような声や、子育てに対する助成制度等の拡充を図って欲しい等の意見が出ました。その中でも、他のお母さんたちや小さな子どもたちの交流を図れるような支援や、子育てで悩み事があるときに相談に乗ってくれる窓口を作ってもらえると助かると言ったような声がありました。

3) 公共交通について (まとめ)

4 グループ 27 名の方たちが参加し、下記のような意見が出ました。

まず公共交通の代名詞でもある路線バスと JR 線については、それぞれの減便に対して大きな不安を持っている声が聞こえてきました。高齢化が進む中、免許返納者も増えてくることが予測され、そのときに公共交通手段が無くなるのは困るといったような意見が多かったです。なお双方の減便となってしまう原因は利用者が少ないからだということは理解しており、それを喰い止めるためのアイデアとして、「路線バスと JR 線の乗り継ぎダイヤを改善する」「路線バスをどこでも乗り降り出来るようにする」「利用状況（希望も含み）を徹底的に調査し、本当に必要な路線・時間帯にしか走らせないようにする。それ以外のところは Uber やカーシェアリングを導入する」等の意見が出ました。

その他の意見としては、富津市内の公共交通だけを考えているようだが、天羽地区においては鴨川市や鋸南町の病院に通う必要もあり、市を跨いでの公共交通も考えて欲しいと言ったような意見や、地域で公共交通手段（シェアライド、有償運送等）を考えるので、それに対して市から助成をして欲しい、と言ったような意見が出ました。

2. 各グループ・各テーマの意見交換会記録（意見交換会の様子）

市民と議会の情報交換会



富津市議会報告会 2017

◆内容 第1部・議会報告会（約1時間）
第2部・意見交換会（テーマ別単位で実施）

11/7 (火) テーマ：空き家対策
峰上地区公民館 上棟100 Tel.66-1111

11/9 (木) テーマ：子育て
（育児・子育て・児童福祉）
富津公民館・多目的室 新館912-34 Tel.67-8181

11/18 (土) テーマ：公共交通
佐貫コミュニティセンター 亀田368-1 Tel.66-1637

○いずれも午後6時スタート（開場は午後5時30分）

○市内在住・在勤の方なら、どなたでも参加できます。
○会場のお茶により、参加人数に限りがあります。
○1部・2部合わせて、2時間程度を予定しています。
○峰上地区公民館、佐貫コミュニティセンターについては、駐車場の関係上でもうお申し込みをお願いします。

■主催：富津市議会 ■お問い合わせ先：富津市議会事務局 電話 60-1331
議政推進部研究員 E-mail: msh20@city.futtsu.chiba.jp

プログラム

富津市議会・議会報告会 2017

（日時・場所）XNUMX日 - 2017年11月7日（火） 峰上地区公民館
XNUMX日 - 2017年11月9日（木） 富津公民館・多目的室
XNUMX日 - 2017年11月18日（土） 佐貫コミュニティセンター
会場 13:00～20:00（開場 17:30）

以下が目的のため、議会報告会を実施します。
・日本の議会活動の内容を理解していただく。
・市民のみなさんの声をお聞きし、市政へ届ける。

18:00	開会
18:01	議長挨拶
18:04	議長紹介
18:10	第1部 議会報告会 1. 議政推進部研究員から報告 2. 議員はあゆみ委員会報告 3. 決算委員会報告 4. 議会事務局報告 5. 議会事務局報告
18:35	休憩
18:40	第2部 意見交換会 【回答タイムスケジュール】 1. 議事進行の説明 5分程度 →18:50 2. 質問中の意見照会（何事か書き出す作業） 30～15分程度 →19:05 3. グループでの意見照会（照会した内容を書き取る） 15～20分程度 →19:25 4. グループでの意見まとめ（発表する内容をまとめる） 30～18分程度 →19:50 5. グループごとの発表（各席のコーディネーターによる発表） 各席2分程度 →19:55
19:58	謝辞まとめ
20:00	閉会（アンケートにご協力をお願いします）

【主催】富津市議会 【協賛】議会事務局研究員

～ご来場下さった皆さまへ～

富津市議会報告会 2017 基本ルール

1. 議会報告会を開催するにあたり、下記のルールをお守り下さりませお願い申し上げます。
（1） 議会報告会開催場所にて、報告会終了と見做される場合はお断りください。
進行をお守り下さるようお願いいたします。
携帯電話等は電源をオフにしてください。アンケートの回収をお願いします。
（2） 全体の質問タイムは設けておられません。アンケートによる質問は受け付けております。

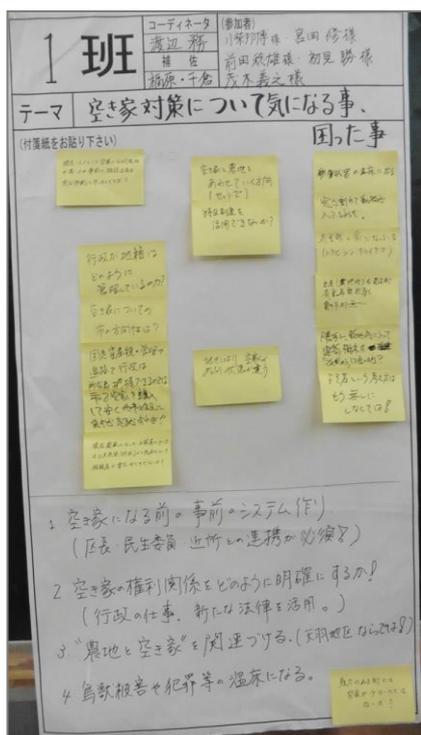
2. 第2部 意見交換会（グループ）の進め方
（1） 下記の点に気をつけて自由な意見をたくさん出し合うようにしてください。
・自分と異なる意見であっても、他人の意見を批判しない。
・心当たりがある点や疑問がある点について積極的に発言し、「自由な意見交換会」を開催する。
・他人の意見を尊重して発言をお願いします。
（2） コーディネーター（議長）は、各グループで意見を交わらせるようにサポートする役目です。
・主な議論は参加者（市民）同士で行いますが、ディスカッションの進め方や発言時間等、ご不明な点はコーディネーターにお尋ねください。
（3） 最終的には各グループにまとまりのある議論に意見をまとめる。参加者全員の前で発表となります。時間内にまとまるよう時間分を各自調整下さい。

3. その他
（1） 議会報告会の内容は、後日報告書を作成する関係、写真撮影と録音・録音を禁止していません。ただし『議会だより』等、公開する資料にも関わらず、関係者以外の方へ提供してはなりません。他の市民の方にも参加して下さるため、参加者個人による写真撮影や録音・録音はご遠慮下さい。
（2） 進行を著しく妨げる等、主催者が目に見る行為と判断した場合は、退場して頂くことがありますのでご了承ください。
（3） 定いている時間に、アンケートにお答え下さい。
自治体関係者の方の参加も歓迎いたします。
（4） 議会報告会の報告書は、後日『富津市議会』ホームページにて公開いたします。
<http://www.futtsu-city.jp>

【第2部の様子】



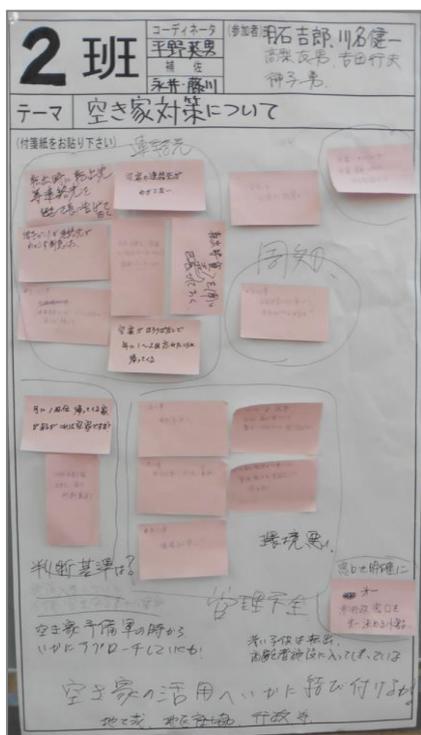
【1日目1班】模造紙記載内容



空き家対策について	
<p>【情報収集について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在1人暮らしで空き家になる可能性が高い人が、事前に相談できる窓口（機関）を作ったらどうか？ ・行政は地籍をどのように管理しているのか？ ・空き家についての市の方向性は？ ・固定資産税の管理や追跡で、行政は所有者の把握が出来るのではないかと？ <p>【耕作放棄地との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家と農地を合わせていく方向で（セットで）、特区制度を活用出来ないか？ <p>【空き家の処分方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市で空き家を購入して、安く他市の住民に貸すか売るかすれば！！ ・現在廃家になっている家屋については、公共機関（行政）より処分について相続者に要求すべきではないか？ <p>【困っていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪の温床になる。 ・窓が割れて動物が入っているようだ。 ・有害獣の巣になっている。（ハクビシン、アライグマ） ・空き家（農地付き）もあるが、有害鳥獣が多く借り手が無い。 	<p>【地域住民による対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手に敷地内に入って、建物・樹木を「改修」しても良いのか？ ・よそ者という考え方はもう無しにしないで！（新しい人に住んでもらえる地域づくり）

<p>【地域住民による対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝手に敷地内に入って、建物・樹木を「改修」しても良いのか？ ・よそ者という考え方はもう無しにしないで！（新しい人に住んでもらえる地域づくり） 	<p>【まとめ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空き家になる前の事前のシステム作り（区長・民生委員・近所との連携が必須！） 2. 空き家の権利関係をどのように明確にするか！（行政の仕事。新たな法律を活用） 3. “農地と空き家”を関連付ける。（天羽地区ならでは！） 4. 鳥獣被害や犯罪等の温床となるので、対策を。 <p><u>魅力のあるまちには空き家が少ないのではないかと？</u></p>
--	--

【1日目2班】模造紙記載内容



空き家対策について

- 【情報収集について】**
- ・転出時に転出先等の連絡先を区長に告げておく。
 - ・空き家の連絡先が分からない。
 - ・借り手がいたが連絡先が分からず断念した。
 - ・活用したいが、どこに問い合わせをして良いか解らない。
 - ・活用出来ない空き家の家主はいないのか？管理していないのか？
 - ・転出時に、貸家・売家にしたいかを区長が聞いておく。
- 【空き家の基準は？】**
- ・空き家かどうか分からない。
 - ・放りっぱなしで年に1~2回忘れた頃に帰ってくる。
 - ・月に1回位かえってくる家があるが、これは空き家ですか？
 - ・活用できる家、出来ない家の判断基準は？
- 【空き家の有効活用に向けて】**
- ・空き家対策を行うことにたいして、周知をさせる必要があるのでは？
 - ・空き家の管理が必要では？
 - ・空き地や庭は草だらけ、家は壊れていては即住めない。
 - ・空き家に辿り着くまでに、道路が壊れて行けなくなっている。
 - ・築数十年経ち、老朽化していて住めない。
 - ・主屋なのか、物置なのか？

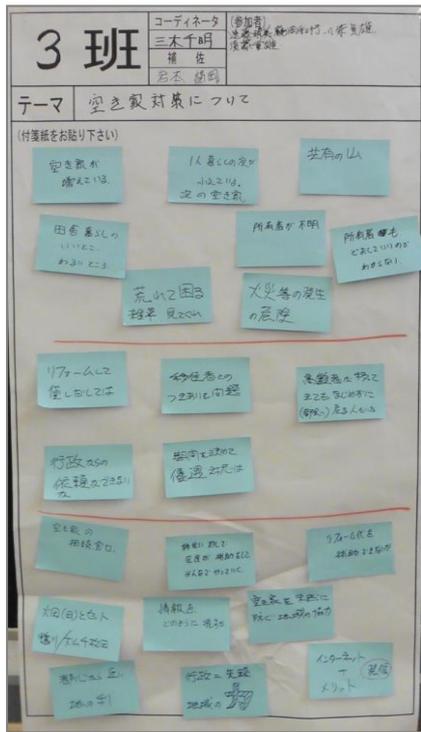
【困っていること】

- ・動物等が侵入してくる。
- ・台風等での倒壊の危険性。
- ・環境が悪くなる。

【まとめ】

1. 高齢化等で施設入居して、今後空き家が増えることが確実。若い子どもは転出し、家主が高齢者施設に入ってしまうと、管理不全となってしまう。空き家予備軍の時から、いかにアプローチしていくか。
2. 情報収集のための行政窓口を作る必要あり。相談窓口を明確にする。
3. 空き家の有効活用へ如何に結びつけるか。地域、地区社協、行政等との連携が必要。

【1日目3班】模造紙記載内容



空き家対策について

【情報収集について】

- ・空き家が増えてきている。
 - ・1人暮らしの家が増えてきて、次の空き家になる可能性が。
- ・所有者が不明。
 - ・情報を共有する場作り。

【困っていること】

- ・火災等の発生の危険性。
- ・荒れて困る。雑草・見てくれ。
- ・所有者もどうして良いか分からない。

【空き家の有効活用に向けて】

- ・空き家の相談窓口を作ってはどうか。
 - ・行政から家主等に依頼が出来ないか。
 - ・行政が先頭に立って、地域の力を借りてはどうか。
 - ・収集した情報をどのように周知していくか。
 - ・インターネットでメリット等を発信する。
 - 都心から近い地の利。
- ・補助金制度を設けられないか。
 - 1) 貸し手に対する補助制度
 - ・リフォーム代を補助出来ないか？
 - ・リフォームして貸し出せるようにする。

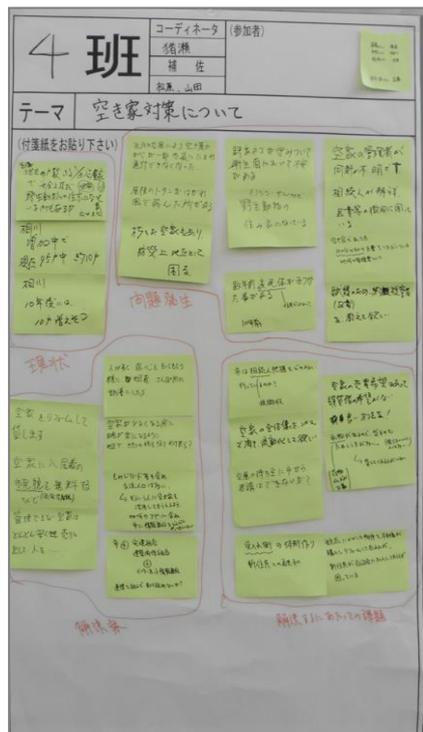
2) 借り手に対する補助制度

- ・期間を決めて優遇対応する。
- ・移住者に対して、地域が馴染めるようにサポートする。
 - ・移住に対して区民が補助をしてみんなでやっていく。
 - ・移住者との付き合いも問題ではないか。
 - 高齢者が移住してきても、馴染めずに（都会へ）戻る人もいる。

【その他】

- ・空き家を未然に防ぐ地域の協力が必須。
- ・他市の空き家対策を参考にする。
 - ・田畑とセットで貸し出す。（鴨川市：オルチ牧田）

【1日目4班】模造紙記載内容



空き家対策について

【現状分析】

- ・高溝地区の戸数のうち、約3分の1(20軒)は空き家で、安全上の問題及び野生動物の住家になっているところもある!
- ・相川地区でも空き家が増加中で、現在95戸中、約10戸は空き家。10年後はさらに10戸空き家が増えそう。

【空き家による問題】

- ・先月(10月)の台風により、空き家の壁が一部赤道に倒れ、通行できなくなった。
- ・屋根のトタンが剥がれ、風で飛んだところがある。
- ・朽ちた空き家もあり、防災上、地区として困っている。
- ・ノラ猫が住みついて、衛生面において不安がある。
- ・イノシシ、サル等の野生動物の住み家になっている。
- ・10年前ぐらいに変死体(住民ではなかった)が見つかったことがある。
- ・空き家の管理者が何軒か不明。
- ・相続人が分からず、区費等の徴収に困っている。(地域の管理費として、空き家であっても、100分の40の区費を頂いている)
- ・賦課(区費徴収)のため、納税管理者を教えて欲しい。

【空き家の解決策(案)】

- ・空き家をリフォームして貸し出す。
- ・空き家に入居するものの市民税(固定資産税)を無料にする等。
- ・管理出来ない空き家はどんどん安く売りに出す。
- ・多くの人に関心を持ってもらうように、地区を散歩コースにする。(もみじロード近辺の集落等)
- ・もみじロードを含め、交流人口は多い。そういう人に空き家を活用してもらえよう、地域のアピールを含め、市に情報発信をどんどんやってもらいたい。
- ・空き家が少なくなるように、田舎が楽しくなるように、地域で季節のものを作り、分ける。
- ・市+宅建組合・建築関係組合+インターネット情報発信。連携を組んで取り組めないか?

【解決策(案)を実行するにあたっての課題】

- ・市は相続人(税徴収)把握をどのように行っているのか。
- ・空き家の全体像を掴んで頂き、流動化して欲しい。
- ・空き家の持ち主に市から要請(指導)は出来ないのか。
- ・空き家の売買希望はあっても、賃貸借の希望がない。賃貸借の仕組みも検討していく。
- ・私物(荷物・仏壇・お墓)があるので、貸すのを躊躇う方が多い。(借りたいという人は多いと思うが、貸してくれる人がいない)
- ・受け入れ側の態勢づくりが必要。新住民との融和。
- ・競売にかかった物件を不動産業者が購入してリフォームして売れたが、新住民が自治会に加入してもらえず困っている。

【2日目1班】模造紙記載内容



子育てについて

【児童公園・各子育て施設】

- ・今あるものを含めて、公園の整備をして欲しい。
- ・公園が少ない。あっても安全に遊べない。(遊具の老朽化、草木がボーボー)
- ・児童公園が遠くにあつて、連れていっても遊具が壊れていて危ない。市に直すように要望してもお金がない!!と言われた。
- ・遊具が壊れたまま。(富津公園)
- ・歩いていける公園が欲しい。バスを使わないと行けないので。トイレ・手洗い場を設置して欲しい。
- ・児童公園を作っても子どもがいないのでは?
- ・子どもが過ごせる場所→子どもが通って遊べる場所→児童館が必要。
- ・君津市の「こっこる一む」のような場所が欲しい。土・日・雨の日に行けるような。

【学童保育・学校施設】

- ・仕事を持っているお母さんは、子どもの具合が悪い時、会社に暇をもらうのに気が引ける。
- ・飯野地区は学童保育が学校内にあつて子どもたちが移動なくて良いので親としては安心。
- ・仕事が遅いと鍵っ子になってしまい、見てくれる人がいない。
- ・学童の運営が保護者であるのは負担。
- ・学童に入れるか心配。(青堀地区)
民営民設だけでなく、公営公設も検討して欲しい。

- ・学童じゃなくても、放課後に学校の体育館を解放して自由に遊べるようにしてほしい。(他県での実例)
- ・土日に学校の体育館の利用が出来るようにしてほしい。(特に雨の日)

【図書館】

- ・富津市は図書館がない。勉強が出来るような図書館がない。図書館がほしい。
- ・富津公民館の図書室を行きやすくして欲しい。(薄暗くて怖い、使いにくい、場所が分かりにくい)
- ・イオン富津さんに協力してもらい、図書室や遊び場を作ってもらえれば、駐車場の心配もないし、バスもあるので便利かと。

【通学路】

- ・飯野小学校の正門の横の水路が雨になると危ない。(前から要望している)
- ・飯野地区は子どもが少ないので、通学時が心配。
- ・田んぼの休耕が多くぶっそう。(攫われても分からない)
- ・通学路の草刈りをボランティアやシルバー人材センターで対応してもらえないか。(母女の会で毎年要望)
- ・交差点で旗振りボランティアをしてもらい、ありがたいが、田圃道には見守りがいない。
- ・通学路には監視カメラが欲しい。(危ない人がいたときにどうするのか?)
- ・通学路に歩道がない、狭い、危ない。

【子育て補助金制度】

- ・子ども手当の値上げを。
- ・保育料が2人目から高い。第2子の保育料の半額を、第3子の条件と同じ(無料)にして欲しい。第3子の無料化は助かる!!ありがとう。
- ・医療受給券の負担割合を200円から無料に。

【ファミリーサポート制度】

- ・ファミリーサポートの利用料金が安い。もう少し安く。
- ・ショートステイのサービスがあると助かる。親が病気のときや土日の対応。
- ・支援センターを増やしてほしい。土日にやって、自由に過ごせるところ。

【子育て政策のPR】

- ・市の宣伝が上手くない。情報が伝わっている人と伝わっていない人の格差。
- ・ファミリーサポート制度をもっとPRして!(PR不足)

【保育時の預かり制度】

- ・遅くまで預かってくれる保育園がない。(夜間)
- ・一時預かり所が欲しい。保育園はほとんど預かってもらえない。

【子育て講座・相談所】

- ・子育て講座(子どもとの接し方)等を行って欲しい。受講中の一時預かりサービスを付きで。
- ・親子で参加できる「〇〇学級」「地域コミュニティ」等、同じ世代・地域とのつながりが出来る仕組みづくりを。
- ・離乳食の手作り教室を開いてくれるとありがたい。
- ・マタニティー期の母親学校をやってほしい。
- ・子育てで悩んでいるときに相談相手になってくれる人がいない。
- ・パパやママが意見を言える窓口が分からない。たらい回しにされる。(このことを市に投書したけど、何の返答もない)

【少子化対策】

- ・小児科・産婦人科、医療費支援センターが欲しい。
- ・産科・婦人科の医院が少ない。

【2日目1班】模造紙記載内容（続き）

<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予防注射は平日が多く、休みが取れない。 ・子育て支援の政策を作るにあたって、現在子育てをしている人たちを、もっと巻き込んで話し合いをして欲しい。（子育てお母さんたちの熱い声はいっぱいあります） 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害かどうか見てくれるところが増えると良い。そういう拠点が富津があれば。 ・子育て安心・安全に対して、各施設の充実や医療機関の充実、また子育て費用の負担軽減等を、市に要望しているが、なかなか進展がないのが現状。
---	---

【2日目2グループ】模造紙記載内容 ※2班と4班を合体



子育てについて	
<p>【児童公園・各子育て施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近に公園が欲しい。 ・子どもが遊べる公園が欲しい。 ・遊ぶ場所がない。 ・ブランコが欲しい。 ・遊具が壊れている。 (木がボーボー) (どこで遊べばよい?) ・公園に洗い場とトイレを設けて欲しい。 ・君津のように子どもが遊べる場所が欲しい。 ・17時ぐらいまで子どもが遊べる子育て支援センターがあると良い。 ・気軽に預けられる一時保育の場所があると良い。 ・児童館(0~18歳まで利用)があると良い。 ・木更津は一時保育が充実しているので、それを利用して働いている人が多い。 <p>【学童保育・学校施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館・児童館が欲しい。 ・中央公民館の図書室が暗くて狭い。 ・新書が段ボールの中に山積みされている。 	<p>① 施設環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視界の遮り 問題 採光の悪さ ○ 行政・市民の声を上げる 安全な子どもが遊ぶ場所を! ○ 情報・徹底 ○ 経済的負担について ○ 経済的負担を減らす方法を探る ○ 安全な環境について ○ 子育ての環境について ○ 子育ての環境を改善する

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの絵本なのに、子どもの手が届かない棚に置いてある。(中央公民館) ・学童保育所に不満。市がアパートを借りて場所を広げられないか。 ・学童保育のレクリエーションで生涯学習パスが借りられると良い。 ・学童保育の指導員が集まらない。 ・長期休みに子どもたちが集える場所が欲しい。 <p>【子育て補助金制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども手当の拡充を。 ・バス通学に対して補助金を。 ・3人目の子ども出産時にお祝い金があっても良いのでは。 ・医療費の負担がある。 ・制服にお金がかかる。 <p>【子育て講座・相談所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある子に手厚いと思う。 ・富津市は小規模でもきめ細かく支援してもらえる。もっと他の人に知ってもらいたい。 ・保健師・栄養士の個別対応が良かった。(助けられた) ・保健師から嫌な思いをさせられた。(母乳育児) ・ファミリーサポートセンターがあることを知らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援センターの拡充を。数を増やしてほしい。 ・支援センターが分かりづらかった。 (行ったら楽しかった) ・母親学級は良かった。(交友関係が出来た) ・他のお母さんとの交流の場が欲しい。 ・小さい子どもとお母さんの交流の場を。 ・マタニティー期に母親学級を。 ・両親以外に子どもを預かってくれるサービスを。 ・祖父母等のいない家庭は、常に子どもを見ていないといけなくて大変です。 <p>【保育所・幼稚園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園の良さをもっと PR して。 ・保育園が職員不足で縮小営業していて、利用しにくかった。 ・民間保育園の中に対応 (TEL) の悪いところがあった。 ・保育料が他市より高い。 <p>【周知活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに関するサークル等の PR をもっと！ (周知が不足している)
--	---

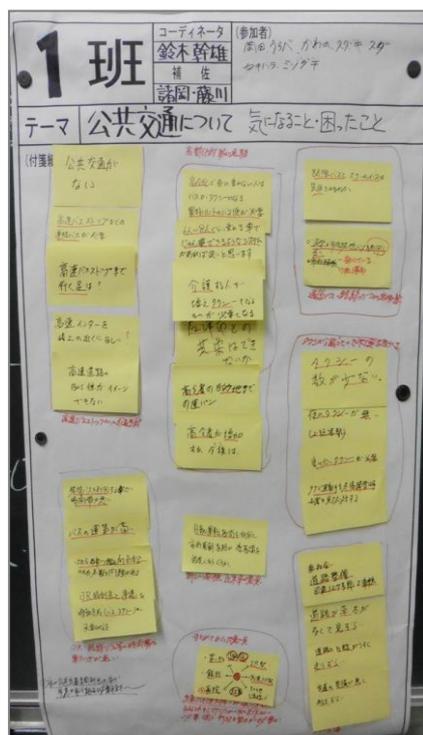
【2日目2班】模造紙記載内容（続き）

<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農薬散布を止めて欲しい。やらないのが当たり前になって欲しい。 ・意見交換会の時間が18時からだと、子どもが小さな家庭は参加できない。 ・雨漏りがする。(飯野小学校) ・産院がなくなってしまった？ ・通学路の安全性 ・アレルギーのある子どもにも給食対応を。 ・どこに相談して良いのかが分からない。(通学路、遊具) ・〇〇学級(公民館)は知り合いが増えてありがたい。 <p>【まとめ】</p> <p>1) 施設・環境について (市民の出来ること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題・課題の洗い出し 	<p>(行政)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声の吸い上げ。出来ないこともあると思うが、しっかりと説明を！ <p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換の徹底 <p>2) 経済的負担について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済的なことまで、ざっくばらんに話し合える環境づくり。 ・父兄同士の工夫も大事！ <p>3) 子育ての環境について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てに悩む母親の相談する場所 ・窓口をもっとアピール (子育ての悩み何でも聞きます窓口、等)
--	---

《事前に頂いた子育てについての意見》 ※当日参加出来ない方より

<p>【子育て支援センターについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、青堀保育園、和光保育園で行っているが、青堀保育園では職員の不足により、通常より縮小しての営業になっていて利用しにくい。和光保育園は通常営業しているが、14:30までの利用となっており、17時ぐらいまで子どもを遊ばせる子育て支援センターがあると良い。また土日が休みの家庭ばかりではないので、土・日・祝日も利用できる場所が欲しい。 ・支援センターの存在を知らない人も多いので、もっとお知らせ出来る方法を考えて欲しい。 ・支援センターの数を増やしてほしい。 ・他県にあるような児童館(0~18歳まで利用できる施設)が富津市にもあると良い。 <p>【一時保育等について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くに実家がなくて、子どもを見てくれる人がいない環境の人は母親が病気等をしたとき、ちょっと髪を切りに行きたい時など、一時保育等の気軽に預けられるところがあると良い。“一時保育を受け入れます”と謳っている保育園が存在するが、富津保育園は電話対応も悪く、とても安心して預けることが出来ない。青堀保育園は職員の不足から1日1人くらいしか預かれなかった(それも働いている人が優先らしい)。木更津などは一時保育が充実しているので、それを利用しながら働いている人が多い。 ・子育てに関する講座の際や、市役所での定期健診の際、子どもは別室で保育してもらい、ゆっくり話を聞けるようにして欲しい。(祖父母など子どもを見てくれる人がいる家庭は良いですが、そうでない人は常に子どもを見ていないといけないので大変です) 	<p>【富津市について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富津には広くてキレイな公園がたくさんあるので、もっとアピールして利用してもらった方が良い。特に富津公民館内からイオンの方まで続いている公園も知らない人が多いです。 ・子連れで行ける食事処がもっとあると助かる。 ・子育て支援が充実していれば、他市へ移住する若者も減ると思います。あと富津市は調整区域が多く、新たに家を建てる事が出来ない！ ・富津は下水の整備が整っていないところも多く、土地はあるが、整備が整っている他市へ移住する人がほとんどだ。家を建てづらい。(整備から始めると、お金がすごくかかる) ・他市のように土地開発を推進していくのと同時に子育て支援の充実をしていかなければならないと思う。他市からすると、かなり劣っていると思う。他市の現状を調べ把握し、まずそのレベルまではあげて欲しい。人口が減少していつている現状を、富津市は真剣に考え、改善策を考えるべきだ。 <p>【意見交換会の時間について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18時からですと、小さいお子さんをお持ちの方はその時間にお風呂や食事をするので、とても参加できません。少し大きめのお子さんをもちの方は、18時からだと来やすいそうです。双方に参加してもらいたいのであれば、土日の午前中(10時頃)であれば、参加してもらいやすいと思います。
---	---

【3日目1班】模造紙記載内容



公共交通について

【浅間山バスストップへの交通手段】

- ・公共交通がない。
- ・高速バスストップまでの連絡バスが必要。
- ・高速バスストップまで行く足は？
- ・高速 IC を峠上地区の近くにほしい。
- ・高速道路上のバス停がイメージできない。

【高齢化対策としての交通手段】

- ・高齢化で車に乗れない人はバスかタクシーを利用することになる。買い物ルートがバス便が必要。6~8人ぐらい乗れる車で、循環出来るようなシステムがあれば良いと思います。
- ・介護を必要とする人が増え、タクシーが必要となってくると思う。
- ・君津市との共営は出来ないか？
- ・高齢者が増える中、今後高齢者の目的地までの運搬が必要となる。

【通学バスと路線バスの共用等】

- ・路線バスとスクールバスは共用されるのか。
- ・通学に市内路線バスを利用しては？

【タクシーが減ってきての不便さ】

- ・タクシーの数が少ない。
- ・夜のタクシーがない。(上総湊駅)

- ・乗合いタクシーが必要。
- ・タクシー運転手が冬場の降雪時は、お客を見て対応する。

【JR と路線バスの乗り継ぎ】

- ・路線バスを利用する際、乗り継ぎ時間が悪い。
- ・バスの運賃が高い。
- ・JR も君津駅~館山駅間は赤字のため、本数の問題がある。
- ・JR 時刻表と連携した移動手段 (バス、タクシー) が必要。

【新しい発想・近未来予想】

- ・自動運転技術を利用し、市内基幹道路に誘導線を設置したらどうか。

【道路整備】

- ・車社会なので道路整備を充実して欲しい。(国道 127 号線の 2 車線化)
- ・道路に草木が多くて見づらい。
- ・道路の白線が薄く、走りづらい。
- ・歩道の整備が悪く、歩きづらい。

【まとめ】

- ・交通が不便な地域故に、目的地まで行くための拠点づくりが必要。個人・地域・行政との連携が必要。

【3日目2班】模造紙記載内容



公共交通について

【効率的な公共路線】

- ・地区と JR 駅とを結ぶバス路線とする。
- ・公共交通の効率的運用方法として、通勤・通学時間帯に絞る。それ以外はデマンド交通とする。
- ・バスをもう少し頻繁に運行させる。マイクロが良いので。
- ・公共交通の利用用途別に解決策を考えたほうが良いのでは？
- ・バスルートを見直すなら、停留所も見直しを！
天羽マリンヒル2か所に、マイクロバス停留所を！
- ・公共バス路線は、どこでも乗り降りできるようにすると、手を挙げると止まってくれるような仕組みを。

【目的別公共交通】

- ・病院通院にあたり、自宅まで迎えに来てくれるようなものが欲しい。買い物にあたって、自宅まで迎えに来てくれるようなものが欲しい。買い物専用巡回バスと通院専用巡回バスに絞ってはどうか。予約等は前日電話で出来るようにする。
- ・第1交通産業の「お出かけ乗合いタクシー」を近隣市と合同で導入する検討をしても良いのでは？

【ボランティア運送】

- ・運転業務を NPO 法人に委託してはどうか。
- ・ボランティアによる送迎。社会福祉協議会活動の支援で出来ないか。

- ・社会福祉協議会でやっている老人買い物支援事業の拡大を図ったらどうか。
- ・各地区の退職者（60～68歳ぐらい）で運転できる人に、買い物・病院等に送り迎えの協力をしてもらえるような体制を作る。（ボランティア協力）
- ・（地域の）シニア世代を活用するシステムづくりを。
- ・ボランティア送迎。南房総市で実施していると聞きますので、参考に見てみたらどうか。
- ・デマンド交通において、ボランティアによる移動支援は大賛成だが、それだけを頼りにすると失敗すると思います。

【Uber・カーシェアリング】

- ・Uberの規制を緩和してはどうか。（京丹後市）
- ・駅前等にカーシェアリングを設置。（千代田区）
- ・北海道中岐別町の「シェアライド」を参考にしたら？（世界中で広がっているが、国土交通省は消極的）
- ・自動運転者の特区。（湘南、石垣市、栃木県）
- ・自動運転バスを誘致してはどうか。
- ・パーソナルモビリティの普及促進。（セブン電気自動車）
- ・自家用自動車による有償運送の適用。（白タク規制の緩和）

【免許返納】

- ・車社会と高齢者の関係性において、免許証の引き上げ後の、老人（免許返納者）に対する公共交通サービスは？
- ・高齢者（1～2人暮らし）の生活において、交通問題は大きな問題。

【JR線】

- ・JRの増便は「無理」だと思う。せめて青堀駅までのJRの複線化を目指す。
- ・JR駅の構造を、高齢者に優しいものとする。

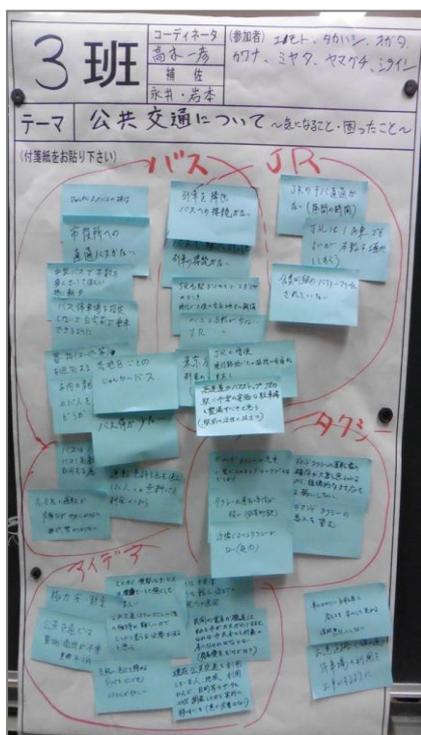
【その他】

- ・学校統合後、下校後の学童保育のための（公共）交通手段は必須。（共働き家庭のため）
- ・公共交通実施年度のとき、80歳以上の利用者把握によりバス路線を決めたらどうか。（利用者の把握は大事）
- ・病院・銀行・スーパー等に資金協力を願い、そこを經由して補助金を出して路線を決める。（JR駅や高速バス停との接続）
- ・人口の減少。
- ・多くの人が公共交通を利用しないのに、公共交通のみを検討する理由は？

【まとめ】

- ・交通弱者（免許返納、買い物、通院等）の対応検討。
- ・効率的な公共路線への組み換えの検討。
- ・社会福祉協議会等のボランティアを活用する。
- ・デマンド、Uber、カーシェアリング、自家用自動車有償運送等を検討する。

【3日目3班】模造紙記載内容



公共交通について

【公共バス】

- ・循環式バスの検討。
- ・市役所への直通バスがない。
- ・中型バスで本数を多く出して欲しい。(特に朝夕)
- ・バス駐車場を指定しないで、自宅前で乗車できるようにしてほしい。
- ・買い物(スーパー等)を巡回するバスや市内の観光施設巡りのバスを走らせたらかどうか。
- ・バス停が少ない。
- ・バスはノンステップバスにする。(高齢者が多く利用するため)
- ・運転免許証を返上した人へのバス料金を無料にしたらどうか。
- ・高齢者の運転が危険だが、辞められない。(交通手段の代替がない)
- ・現行バス便の空白地区の解消を図って欲しい。

【JR線】

- ・JRの千葉駅直通がない。(昼間の時間)
- ・1車両でも良いが、本数を増やしてもらいたい。
- ・佐貫町駅をバリアフリー化して欲しい。

【公共バス&JR線】

- ・電車とバスの接続が悪い。それぞれのダイヤをリンクさせて欲しい。
- ・バスも電車も本数が少ない。
- ・東京方面へのバス・電車の直通がない。(昼間)

- ・JRの増便を図り、現行路線バスの路線の全面的見直しを図るべきである。
- ・高速道のバスストップやJRの駅に、市営の安価な駐車場を整備すべきだと思う。(駅前の活性化に役立つ)

【タクシー】

- ・デマンドタクシーの充実を図る。
小型バスによるデマンドバスはどうか?
- ・タクシーの運用時間が短い。(佐貫町駅)
- ・近隣で呼べるタクシーがない。(夜間)
- ・デマンドタクシーの運転手の確保が大変と思われるので、組織的な対応をお願いしたい。
- ・デマンドタクシーの導入を望む。

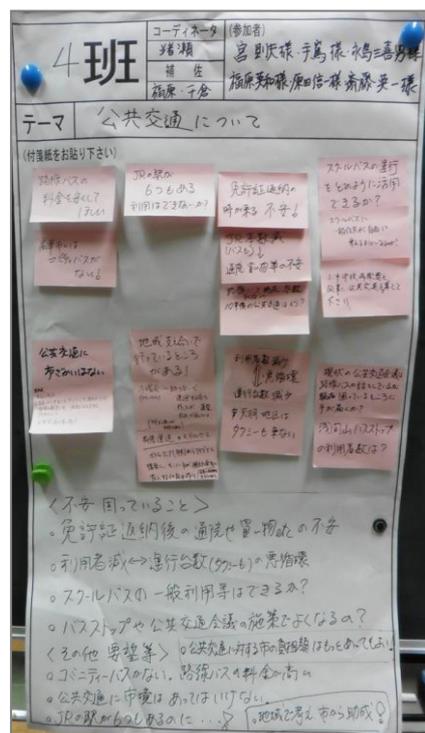
【その他】

- ・車の代わりに自転車を利用しようとしても、安心して走れる道路整備が成されていない。
- ・高速道路(館山道)の駐車場の利用を上手にするように。

【アイデア】

- ・極力安い料金となるような仕組みを考えて欲しい。
- ・公共交通では買い物・通院が不便。
(実際問題、対策は不可能ではないか)
- ・とにかく無駄なサービスは徹底して無くして欲しい。
- ・公共交通システム立ち上げ後の維持が難しいと思うので、しっかり考える必要があると思う。
- ・上りは木更津、下りは館山ぐらいの病院への送迎を考えて欲しい。
- ・民間の業者が撤退して、それを市が肩代わりするのであれば、市民すべてを対象に考えてもらうべき。
(弱者優先だけでは?)
- ・気軽に送迎を頼める(いつでも、どこでも)システムを構築して欲しい。
- ・現在公共交通を利用している人、地域、利用頻度、目的等のデータを100%調査してから実行に移すべき。
(急ぐ必要はない)

【3日目4班】模造紙記載内容



公共交通について

【公共バス】

- ・路線バスの料金を安くして欲しい。
- ・富津市にはコミュニティバスがない。
- ・公共交通に市境はないはずである。天羽地区の場合、鴨川市や南房総市の病院を利用することもあるので、そういった路線も考えて欲しい。
- ・現在路線バスの本数が少ないが、10年後の公共交通はどうなっているか。

【スクールバスとの共用】

- ・スクールバスの運行を、どのように路線バスとしても活用できるのか？
- ・スクールバスに一般住民が自由に乗れるようになるのか？
- ・小中学校再配置計画と同時に、公共交通計画を考えてください。

【デマンド交通等】

- ・地域の支え合いで、乗合いを行っているところがある。木曜会（マリンヒル地区）で、地域住民の助け合いで送迎する会を作ったが運営方法で困っている。（タダだと悪いので料金を取る仕組みを考えたい）
- ・有償運送のモデルケースを、ボトムアップ（市民）からのアイデアで構築し、そこに市が補助金等を投入する仕組みを作って欲しい。（企業の協力等も）

【その他】

- ・JRの駅が6つもある。上手く利用できないものか？
- ・免許証返納のときが来るのが不安。
- ・JRやバスの本数減によって、通院や買い物等に不安を感じる。
- ・利用者数減少←→運行台数減少の悪循環となっている。
- ・天羽地区はタクシーも来ない。
- ・現状の公共交通会議は路線バスの話をしているが、現在困っているところに手が届くのか？
- ・浅間山バスストップの利用者数は？

【まとめ】

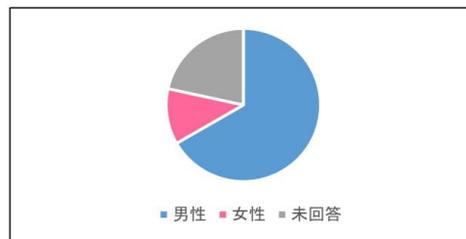
- (不安・困っていること)
- ・免許証返納後の通院や買い物等の不安。
 - ・利用者減←運行台数（タクシー含む）減の悪循環。
 - ・スクールバスの一般利用等は出来るのか？
 - ・バスストップや公共交通会議の施策で良くなるのか？
- (その他要望等)
- ・公共交通に対する市の負担額はもっとあっても良いと思う。
 - ・コミュニティバスがない。路線バスの料金が安い。
 - ・公共交通に市境があってはいけない。
 - ・JRの駅が6つもあるのに・・・！
 - ・地域で考え、市から助成を！

第3章 アンケート結果について

1 参加者アンケートまとめ (参加者52名中42名回答/回答率80.77%)

Q.あなたの性別は？

	11月7日	11月9日	11月18日	合計	割合
男性	15	1	18	34	66.7%
女性	0	6	0	6	11.8%
未回答	2	0	9	11	21.6%
合計	17	7	27	51	-



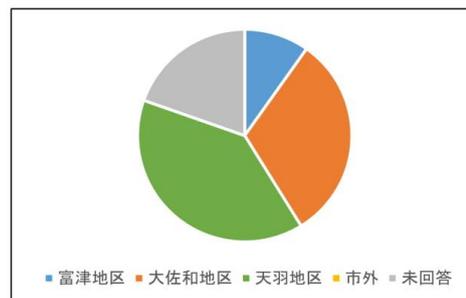
Q.あなたの年代は？

	11月7日	11月9日	11月18日	合計	割合
10代以下	0	0	0	0	0.0%
20代	0	0	0	0	0.0%
30代	0	1	0	1	2.0%
40代	0	3	1	4	7.8%
50代	1	1	1	3	5.9%
60代	9	2	10	21	41.2%
70代以上	5	0	7	12	23.5%
未回答	2	0	8	10	19.6%
合計	17	7	27	51	-



Q.お住いの地区は？

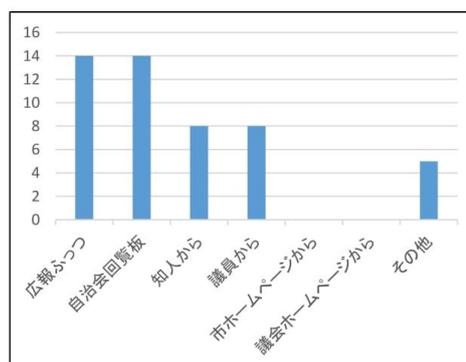
	11月7日	11月9日	11月18日	合計	割合
富津地区	0	5	0	5	9.8%
大佐和地区	0	2	14	16	31.4%
天羽地区	15	0	5	20	39.2%
市外	0	0	0	0	0.0%
未回答	2	0	8	10	19.6%
合計	17	7	27	51	-



(市外の内訳)

Q.今回の議会報告会をどのように知りましたか？(複数回答可)

	11月7日	11月9日	11月18日	合計	割合
広報ふつつ	8	0	6	14	28.6%
自治会回覧板	5	1	8	14	28.6%
知人から	3	3	2	8	16.3%
議員から	2	3	3	8	16.3%
市ホームページから	0	0	0	0	0.0%
議会ホームページから	0	0	0	0	0.0%
その他	2	0	3	5	10.2%
合計	20	7	22	49	-

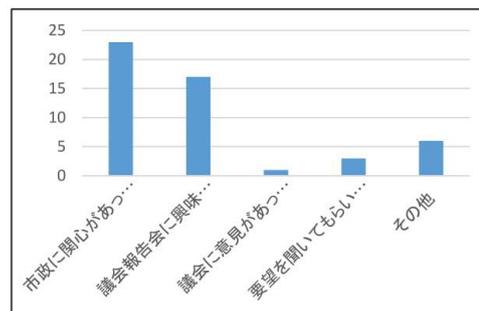


(その他の内訳)

- ・ 代表区長より連絡がありました。(天羽地区・60代・男性)
- ・ 回覧物(天羽地区・70代以上・男性)
- ・ 区長会(大佐和地区・60代・男性)
- ・ 区長だから(天羽地区・60代・男性)
- ・ 区長会にて(天羽地区・70代以上・男性)

Q.議会報告会に参加した理由は？(複数回答可)

	11月7日	11月9日	11月18日	合計	割合
市政に関心があったから	12	1	10	23	46.0%
議会報告会に興味があったから	9	4	4	17	34.0%
議会に意見があったから	1	0	0	1	2.0%
要望を聞いてもらいたかったから	0	2	1	3	6.0%
その他	1	1	4	6	12.0%
合計	23	8	19	50	-

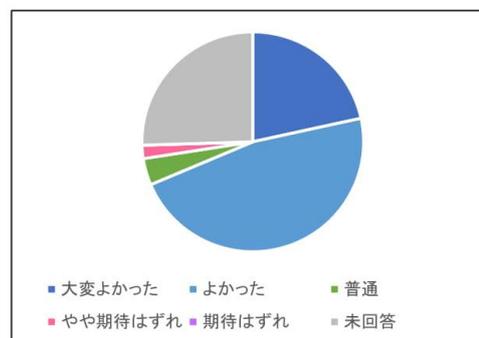


(その他の内訳)

- ・ 地区内に対象家屋が存在する。(天羽地区・70代以上・男性)
- ・ こどもまつりで集めた子育て世代の意見をいろんな人に伝えたかった。(大佐和地区・40代・女性)
- ・ 区長会の活動(大佐和地区・60代・男性)
- ・ 交通問題に関心があったから(天羽地区・70代以上・男性)
- ・ 区長だから(大佐和地区・60代・男性)

Q.議会報告会に参加した感想は？

	11月7日	11月9日	11月18日	合計	割合
大変よかった	4	4	3	11	21.6%
よかった	10	3	11	24	47.1%
普通	1	0	1	2	3.9%
やや期待はずれ	0	0	1	1	2.0%
期待はずれ	0	0	0	0	0.0%
未回答	2	0	11	13	25.5%
合計	17	7	27	51	-



(感想の内訳)

- ・ 他の市の人たちに笑われない市になってほしい。(50代・男性)
- ・ 今後は数多く行い、一般の方の参加も多くし、関心を高めていこうと思います。(天羽地区・60代・男性)
- ・ 議員さんとのコミュニケーションが図れた。(天羽地区・70代以上・男性)
- ・ 議員の皆様のお考えがわかってよかった。(天羽地区・60代・男性)
- ・ 各班からの意見は想定内のことが多かった。(天羽地区・70代以上・男性)
- ・ 「地域活性化について」のテーマで設定してほしい。(天羽地区・60代・男性)
- ・ いろいろな意見が聞けて良かった。(天羽地区・60代・男性)
- ・ 今後の活動の役に立つと思います。ありがとうございました。(富津地区・40代・男性)
- ・ 熱心に話を聞いて頂き、ありがとうございました。気さくに話せて、とても良かったです。(富津地区・30代・女性)
- ・ 思ったより気さくな会で話しやすかった。議員さんと話せたことは良かった。人にちゃんと伝えるということが、とても大変ということに気付いた。(大佐和地区・40代・女性)
- ・ 初めて参加させていただきました。直接、議員の皆さんとお話が出来、大変良かったです。(富津地区・50代・女性)
- ・ 市政について身近に感じられました。(大佐和地区・40代・女性)
- ・ 言いたいことが少し言えた。(富津地区・60代・女性)
- ・ いろいろな考えを聞いて、興味が湧きました。(富津地区・60代・女性)
- ・ どんどん具体的に進めていきたいものです。(天羽地区・60代)
- ・ いろいろな意見が聞けて考えが深まった。(大佐和地区・60代・男性)
- ・ 今回出された意見を市の公共交通の計画に生かしてもらいたい。(大佐和地区・60代・男性)
- ・ 具体的な案がいくつも出されています。まめすぎずに一件一件、真剣に検討してみてください。はじめから100点を狙わず、60点から始めて徐々に改善して下さい。何よりスピード重視をして下さい!!!(天羽地区・70代以上・男性)
- ・ 今回区長として参加しましたが、出席して良かったです。市長も若くなり、議会の方々の活動に関心をもっています。(大佐和地区・60代・男性)
- ・ 参加する年齢、職業、高齢者等々、考えてもらいたい。(大佐和地区・60代・男性)
- ・ 第2部のグループ討議(ブレインストーミング)で、各々が意見を言えた(書き出し)ことが良かった。(大佐和地区・60代・男性)

- ・今後も続けてもらいたい。(大佐和地区・70代以上・男性)
- ・みんなで書いて話し合って結果を出す基本的な考え方で進んだ。(大佐和地区・60代・男性)

Q.その他、ご意見・ご感想をお書き下さい。

(その他の内訳)

- ・意外に市のことに関心をもっていない市民が多いのに、びっくりしました。(50代・男性)
- ・一般市民より意見等を議員に伝える機会は今まであまりなかった。方法は違って、どんな形でも、このようなことは多く行っていただきたい。(天羽地区・60代・男性)
- ・このような機会を増やし、できるだけ市民の声を聴いて、地域の実態を掴み、市政に反映させていただきたいと思います。(天羽地区・70代以上・男性)
- ・財政調整基金増加と報告がありました。今回の台風被害(道路等)の対応をしていただきたい。捕獲鳥獣処理設備の稼働はいつごろの予定なのか？(天羽地区・60代・男性)
- ・2部の空き家対策については、時間が足りなかった。事前に参加者にテーマを与えてある程度意見をまとめてきてもらえれば、もっと良い意見・対策が出たかと思えます。報告会の第1部、第2部は切り離して日時を変えてやったほうが良いと思います。(天羽地区・60代・男性)
- ・今回出た意見が今後どう解決・進展していくのか状況が分かるといいな。(富津地区・30代・女性)
- ・時間が足りなかった。子育て支援の政策を作るときに、現役の子育て世代の意見を伝えられる場が必要。市の頑張りはとても良く分かるけど、どうしてもギャップはある。ギャップを埋められる【市】←→【市民】の関係づくり。(大佐和地区・40代・女性)
- ・今後このような機会には他の方へもPRして参加させて頂きたいと思えます。(富津地区・50代・女性)
- ・市長を始め、議員の皆さんとお話が出来る場に参加でき、とても良かった！(富津地区・60代・女性)
- ・市民のために少しでも手を貸します。(天羽地区・50代・男性)
- ・大変良かった。(天羽地区・60代)
- ・議員の方々は先を見て行動して欲しい。ビジョンを作って進むこと。(大佐和地区・60代・男性)
- ・地域との意見交換の場でも同じようなスタイルが良いと思う。(大佐和地区・60代・男性)
- ・討議結果を書面で知らせて下さい。(大佐和地区・70代以上・男性)
- ・もう少し若い世代に参加してもらえると良かったです。個人の写真は許可して欲しい。(SNSに上げるため)(大佐和地区・40代・男性)

富津市議会報告会 2017

【担当】議会改革推進研究会

会 長 石井 志郎

副会長 猪瀬 浩

会 員 鈴木 幹雄

渡辺 務

平野 英男

高木 一彦

三木 千明

(報告書編集) 猪瀬 浩

【報告書作成日】平成 30 年 1 月 09 日